

【西郷村】  
西郷村立小中学校 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿（県に準ずる）

(i) 学びの変革について

第7次福島県総合教育計画により、予測が困難な変化の激しい社会において、生きて働く「知識及び技能」はもとより、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会にいかそうとする「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育むことが必要であり、このため、様々な教育活動の中で対面とオンライン、紙とデジタル等を組み合わせ、画一的な一方通行の授業等から個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへとICT活用などによる学びの変革を実現する。

(ii) 主な取組

- ① 対面での教育とICTを取り入れた教育
- ② 紙とデジタルの双方の良さを取り入れた個別最適化された学び
- ③ 遠隔地や他校との交流も含め多様性をいかす協働的な学び
- ④ 新たな価値を創造する深まりのある探究的な学び

2. GIGA第1期の総括

1人1台端末については、令和2年度に1,655台を整備し、児童・生徒への整備率100%を実現した。このことにより、コロナ禍における学びの保障を行った。

また、ICT支援員の活用、学習用ソフトの導入など、児童生徒や教職員におけるICT活用の指導補助・学習補助を行った。

一方、学校におけるネットワーク通信速度にばらつきがあるため、継続的にネットワーク整備を行っていく必要がある。また、端末活用実態にもばらつきがあるため、引き続きICT端末利活用の補助、ICT活用指導力の向上を図る必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

① 1人1台端末の積極的活用

- ・ 福島県版ICT活用ハンドブックの活用推進による教職員のICT活用指導力の向上
- ・ ICT支援員の継続的な派遣と端末利活用にかかわる研修の充実
- ・ 各学校における情報教育担当教職員と教育委員会ICT担当者による定期的な情報共有
- ・ 調べ学習や校外学習における端末利活用の推進

② 個別最適・協働的な学び

- ・ ドリルソフトや協働学習ソフト等の継続的な活用
- ・ 福島県版ICT活用ハンドブックの活用による教職員のICT活用指導力の向上
- ・ 汎用クラウドプラットフォームであるFCS（ふくしまクラウドサービス）を活用した教育ダッシュボードの構築

③ 学びの保障

- ・ AI機能を有し、オフラインでも活用できるドリルソフトの導入検討
- ・ 外国籍の児童生徒や特別支援学級におけるICTの効果的な活用に向けて、それぞれの児童生徒の学習ニーズに合わせた支援装置の整備検討

福島県学びの変革より

